

## 緊急講演会

# いま日本に問われていること - 強制動員労働者の韓国最高裁判決をめぐって



## 本講演の趣旨

去る10月30日の元‘徴用工’韓国最高裁判決に対して、日本では様々な反応が起こっています。ただその論調は「請求権は日韓請求権協定」で解決済みといったものが多く、この問題に対する冷静な分析がなされているようには見えません。そこで韓国近現代史が専門の太田修氏を招き、そもそも日韓会談、日韓請求権協定においてこの問題（個人請求権）がどのように議論されたのか、日本が植民地支配に対する責任を果たすという意味で、日韓請求権協定がいかに問題を含んでいるのかについてお話しいただき、今回の判決が日本に何を問いかけているのか、考える場を持ちたいと思います。

日時: 2018年12月13日(木)

18時30分開始

講師: 太田修 教授

同志社大学グローバルスタディーズ研究科教授

京都コリア学コンソーシアム センター長

場所: 同志社大学今出川キャンパス至誠館(S)1 教室

## お問い合わせ:

主催 : 同志社大学 KOREA 文化研究会

E-mail : doshisha\_koribun@yahoo.co.jp



日帝強占期  
強制徴用労働者像